

「第三次千葉県障害者計画」～教育・育成関連～の概要

(千葉県、平成16年7月8日)

(1) 基本的考え方

ノーマライゼーションの実現を目指し、地域で自立した生活を支援することを基本に、障害者一人ひとりのニーズに対応して、ライフサイクルに対応した総合的かつ適切な支援を実現することが重要と考えられます。

障害を理由に分けられることなく、小・中学校等の通常の学級でも、特別な教育ニーズに合わせた教育ができるようにする必要があります。この際、当事者の意思の尊重と教職員の意識の改革、支援体制や環境の整備を合わせて行う必要があります。

障害のある児童生徒が多様な生き方を実現できるように努めます。

「特別支援教育」施策の構築・推進を図る必要があります。

「特殊教育」から「特別支援教育」への移行にあたり、教職員、保護者の理解の推進を図る必要があります。

小・中学校の通常の学級と養護学校等との交流を積極的に推進する必要があります。

学習障害(LD=Learning Disabilities)、注意欠陥/多動性障害(ADHD=Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder)、高機能自閉症等の特別な支援を要する児童生徒に対して適切な教育的支援の充実を図る必要があります。

学校教育にとどまらず、生涯を通じた教育について、障害の特性を考慮した支援を充実する必要があります。

(2) 「ともに学ぶ」環境や仕組みの整備

市町村における就学指導では、教育学、医学、心理学等の観点から総合的に相談を行う中で、本人に対する支援内容について保護者への情報提供に努めるとともに、保護者の意見を尊重しながら進めていきます。

多様な障害を有する児童生徒の就学が可能となるよう、補助する職員の配置や連絡調整役となる「特別支援教育コーディネーター」を置くなど小・中学校における支援体制の在り方を検討します。

実業高校を含む高等学校の入学選抜において、障害のある生徒が受験しやすい環境を整えとともに、入学後においても学習しやすい環境の整備を進めます。

障害学生に対する既存の支援制度を学生に周知し、積極的に活用を促すよう県内の大学等に働きかけます。

(3) 一貫した相談支援体制の整備

障害のある子どもに対する支援を行うためには、乳幼児期から学校卒業後にわたって、教育、福祉、保健、医療等が一体となって障害のある子ども及びその保護者に対する相談及び支援を行うことが重要であり、そのための一貫した相談支援体制を整備することが必要です。

相談支援体制の整備

「難聴」「言語障害」をはじめ障害のある子に対しては、早期発見、早期治療が重要であることから、幼稚園、保育園の保育士等が対応できるように育成するとともに、相談場所を明確にします。

盲・ろう・養護学校と小・中学校等との転学に関する相談体制の整備を図ります。

特別支援教育コーディネーターの養成

特別支援教育コーディネーターは、地域における福祉、保健、医療等の関係機関との連絡・調整を図るとともに、その専門的な知識を有することが求められます。

特別支援教育推進のための特別支援教育コーディネーターを養成し、全校の組織に位置付けます。この場合、コーディネーターとしての役割を実質的に果たせるような業務態勢及び人員体制の充実が必要です。

個別の教育支援計画の作成

就学前から卒業後まで随時、個別の教育支援計画を作成し、関係諸機関の連携・協力によりこれに継続性を持たせます。

知的障害の特性を踏まえ、短期大学等の活用により段階的・長期的に履修できるようにする方策を検討します。

広域特別支援連携協議会（仮称）の設置

児童生徒の障害が、重度・重複化、多様化しており、そのための対応として各関係機関との連携を図る必要があります。

このため、障害のある児童生徒に係わる各関係機関で構成される広域特別支援連携協議会（仮称）を設置し、障害児者の生涯にわたる支援体制を構築します。

(4) 専門機関の機能の充実と多様化

児童生徒の障害の重度・重複化や多様化の状況を踏まえ、障害のある子どもが多様なニーズに応えるため、地域の各関係機関は教育・療育センターとしての役割を担うとともに、支援体制の整備を図る必要があります。

盲・ろう・養護学校は、その在籍する児童生徒等への教育や指導に加えて、地域の保護者等への相談や小・中学校等における障害のある児童生徒等への教育的支援を行うために、地域における特別支援教育のセンター的な役割を果たすことが重要です。

また、盲・ろう・養護学校を必要とする生徒がより身近な地域で就学することができるよう、その機能や仕組みを普通学校の一部に置く方策を検討します。

盲・ろう・養護学校の地域の特別支援教育のセンター的役割

盲・ろう・養護学校は、センター的機能の実現に向けて推進します。各学校の障害別の専門性を生かし、地域で相談並びに指導のできる体制を推進します。

在籍する生徒の障害の多様化に対応できる施設・設備の充実を図ります。

盲・ろう・養護学校の特別支援学校（仮称）への移行

特別支援学校への移行に向けた課題等についての具体的な検討を行います。この場合、当事者や保護者等の関係者の意向にも十分配慮するとともに、障害特性を踏まえた支援をさらに充実するよう留意します。学校の適正規模及び職業学科の設置について検討します。

関係機関との連携

障害児者に関わる医療、福祉、教育関係の各機関が一体となり、生涯にわたる支援体制の構築を検討します。

各機関との連携により、障害の重度、重複化、多様化に対応して指導内容・方法の充実を図ります。

重症心身障害児や精神障害を有する障害児等の医療的ケアが必要な児童・生徒に対する支援体制を充実します。

看護師の配置を充実するとともに、研修受講など一定の要件を満たした教職員が、看護師の管理の下で吸引など一定の行為を行うことを認めるよう、国に働きかけます。

教師と医療機関や保健所（健康福祉センター）の連携によりサポートする体制を整備します。

障害のある生徒の就労や自立に向けて、企業経営者に対して障害者の理解・啓発を推進します。

(5) 指導力の向上と研究の推進

教職員一人ひとりが、障害のある児童生徒に対する理解や指導上の専門性を高めること、及び組織として一体となった取組が可能となるような学校内での協力体制を構築することが重要です。

そのためには、学校外の専門家等の人材を学校で有効に活用し、関係機関との有機的な連携協力体制を構築すること等により、特別支援教育の専門性の強化に向けた取組が求められます。

教職員研修

千葉県総合教育センターにおける特別支援教育のセンター機能の充実推進を図ります。

障害のある児童生徒の学習上の困難の改善・克服につとめるだけではなく、特性を伸ばす教育を専門的に行うよう推進します。

保育所・幼稚園で障害児がより良く学ぶための条件整備と職員研修について検討します。

特別支援教育の進展によって通常の学級で障害のある児童生徒を支援する場合は、学級だけではなく学校全体で支え合うための理解・啓発を推進します。

親の会やNPO等が実施する障害者に関する講習会、研修等の活用を検討します。

教職員が企業等に出向き、業務内容を直接体験する研修等の実施についてさらに充実します。

長期休暇等を利用して、障害の特性に応じた指導法の研修を積極的に進めます。

研究指定校による先行研究の推進と実践の充実

千葉県の特別支援教育の課題に則して研究校を指定し、学校教育や社会教育に関する教育内容、教育方法についての調査研究を行い、指導の改善及び充実を図ります。

専門性の強化

千葉県総合教育センターでの研修講座の充実を図ります。特に、特別支援教育の充実による専門的研修、研究、調査、相談支援体制の充実を推進します。

教育関係者に障害をありのままに受け止める障害者間を理解することを目的として、障害当事者等を講師とする研修を実施します。

特別支援教育にかかる教育職員の免許取得の推進について検討します。

特別な教育的ニーズに応じた教員を確保するよう計画的な採用を行います。

す。

(6) 障害児の幼児教育、保育及び放課後活動の充実

私立幼稚園における障害児教育は、平成15年度において全431園(うち5園休園中)のうち94園で実施されています。

私立幼稚園が障害のある幼児を受け入れるために行う補助教員の配置、設備整備、研修受講等の経費に対して引き続き補助を行い、障害児受け入れの促進を図ります。

平成15年度末現在、障害児保育は千葉市・船橋市を除く全77市町村・528か所のうち60市町村・204か所の保育所で実施されています。

保育所が障害のある子どももそうでない子どもも分けることなく受け入れられるよう、保育環境の整備、充実を図ることが必要であり、引き続き次の施策を推進します。

- ・保育所職員が相互連携しながら障害に対する理解を深め、行動の意味をくみ取りながら適切に対応できるようにするため、職員の研修を行います。
- ・障害児保育を行うために必要な設備、整備等に補助を行い、障害児保育の促進を図ります。

平成15年度末現在、障害児を受け入れている放課後児童クラブは、国庫補助事業で37クラブ、105人、県単独補助事業で40クラブ、40人となっています。引き続き、障害児童を受け入れる放課後児童クラブに対して運営費の補助を行い受入の促進を図ります。

障害児の児童館(児童に健全な遊びを与えて、健康増進等を目的とする屋内型の施設)の利用を促進します。

中学生・高校生に対するデイサービスの実施が認められるよう、引き続き国に働きかけます。